

資料2別表 提案評価基準

目次項目	提案書記載事項（例）	評価事項	配点
1 提案コンセプト			20
1-1 提案事業者等の概要	●提案事業者等の会社概要 →資本金、自己資本利益率、従業員数等 ※提案事業者とシステムベンダーが異なる場合は、両者について示すこと	・契約終了まで、継続してシステムを提供できるか。	
1-2 令和2年度以降のシステム導入実績	●提案するシステムの令和2年度以降の導入実績 →全国での導入実績を示すとともに、委託者、履行期間、規模(システムを利用する小・中学校数)についていくつか例示する →周南市と同規模の自治体での導入実績について、委託者、履行期間、規模(システムを利用する小・中学校数)をいくつか例示する	・提案者は十分なシステム導入実績を有しているか。 ・提案するシステムについて、周南市と同規模の自治体での導入実績は十分であるか。	
1-3 提案の特徴	●事業遂行にあたっての本提案の優位性	・提案の優位性を明確に示しているか。またその内容は妥当なものであるか。 ・受注意欲	
2 システムサービス評価（非機能要件）			40
2-1 操作性	●提案するシステムの全体構成 ●各種機能(協働学習ツール、思考支援ツール等)の紹介 →操作感、システムの特徴（独自性）	・教員、児童生徒がストレスなく直感的に操作できる操作性であるか。 ・授業等学習場面での利用にあたり、教員の利便性や負担軽減に資する工夫があるか。	
2-2 運用サポート	●システムを利用する上での支援体制 →トラブル発生時のサポート →普段の授業でシステムを利用するための基本的サポート →各ツールの機能を最大限に生かすためのサポート	- 充実した運用サポートが期待できるか。 ・ヘルプデスク対応条件、対応体制 ・操作方法や主要操作メニューの機能に係るマニュアルや動画等の充実 ・効果的な活用方法の提案、教員向けの研修	
2-3 システムの導入効果測定	●児童・生徒の利用状況分析 →システムの利用状況や作成した資料を確認できる →システムの利活用を進めていくための材料となる情報の取得	- システム導入効果を可視化するための工夫があるか。 ・管理職等が校内のシステム活用状況をスムーズに把握できるか ・発注者（教育委員会）が、各校のシステム活用状況をスムーズに把握できるか。 ・活用状況を踏まえたフォローアップが充実しているか。	
2-4 システムの運用保守	●年度切替処理 →学校及び教育委員会での作業内容 ●システムの信頼性やセキュリティについて	・年度切替処理等、利用環境保守に関する作業等は、発注者や学校現場の負担にならないよう工夫されているか。 ・システムのレスポンス性能、耐障害性、セキュリティを確保するため、どのような対策がなされているか。	
3 その他（追加提案等）			10
3-1 任意提案事項に係る対応	●任意提案事項に関する取り組み方針、支援体制等に係る提案	- 仕様書記載外の追加提案のサービスや機能について、提案内容が優れているか。 ・要求事項を上回る有益な提案が具体的に示されているか。	
システムサービス要件			25
提案するシステムのサービス要件		機能要件適合表の回答に従い、項目ごとに点数化（○＝2点、△＝1点、×＝0点）したものの総和[A]により評価点を算出する。	
見積価格			5
見積書の金額		参加者から提示された最低基準額と相対評価する。	
合計			100